

### 3-27 障害のある方への調査（障害者本人の年齢が20歳以上（355人）を母数とした集計）

#### 回答者の属性

(1) 調査聴取対象 (n=355)

表 3-1

対象	割合	対象	割合
あなた自身	47.6%	兄弟・義理の兄弟	2.0%
配偶者	25.6%	姉妹・義理の姉妹	1.7%
父・義父	10.1%	子ども（男）	2.0%
母・義母	9.9%	子ども（女）	1.1%

※回答者本人=あなた自身。回答者が本人以外の場合、回答者からみた続柄を示す。

(2) 性別 (n=355)

表 3-2

男性	女性
54.6%	45.4%

(3) 年齢層 (n=355)

表 3-3

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
16.6%	12.7%	15.8%	16.3%	13.2%	25.4%

(4) 居住区 (n=355)

表 3-4

区	割合	区	割合	区	割合
鶴見	6.2%	保土ヶ谷区	8.5%	青葉	10.1%
神奈川	7.0%	旭	5.9%	都筑	3.9%
西	2.5%	磯子	5.1%	戸塚	7.6%
中	3.7%	金沢	6.5%	栄	1.4%
南	5.6%	港北	9.0%	泉	4.2%
港南	6.2%	緑	3.9%	瀬谷	2.5%

## (5) 障害の種別 (n=355、複数回答)

表 3-5

種別	割合	種別	割合
上肢不自由	8.7%	音声・言語・そしゃく機能障害	3.1%
下肢不自由 (日常生活で車椅子を必要とする)	4.5%	内部障害	8.2%
下肢不自由 (日常生活で車椅子を必要としない)	11.8%	知的障害	5.6%
体幹不自由 (日常生活で車椅子・ストレッチャーを必要とする)	2.5%	発達障害	7.9%
体幹不自由 (日常生活で車椅子・ストレッチャーを必要としない)	9.0%	精神障害	29.3%
視覚障害	12.1%	その他	5.1%
聴覚障害	9.6%		

## (6) 障害者手帳の所持状況 (n=355、複数回答)

表 3-6

手帳種別	割合	手帳種別	割合
障害者手帳は持っていない	53.0%	愛の手帳 A 1	1.4 %
身体障害者手帳 1 級	9.9%	愛の手帳 A 2	0.6%
身体障害者手帳 2 級	6.2%	愛の手帳 B 1	1.1%
身体障害者手帳 3 級	7.0%	愛の手帳 B 2	1.7%
身体障害者手帳 4 級	3.7%	精神障害者保健福祉手帳 1 級	1.1%
身体障害者手帳 5 級	1.7%	精神障害者保健福祉手帳 2 級	6.5%
身体障害者手帳 6 級	2.8%	精神障害者保健福祉手帳 3 級	5.4%

## 調査結果のまとめ

## ●過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション実施率は 72.7%

令和元年度の 48.1%より 24.6 ポイント増となった。

## ●「週に 1 日以上」の実施率は 58.3%

令和元年度の 36.7%より 21.6 ポイント増、市の目標 (40%) を 18.3 ポイント上回った。

## ●過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション

1 位「ウォーキング」(47.6%)、2 位「散歩 (ペットの散歩も含む)」(36.3%)、3 位「体操 (軽い体操・ラジオ体操) (17.2%)」となった。

## ●実施動向

実施理由は「健康・体力の維持、増進」(76.4%) が最も高い。スポーツ・レクリエーションを行う際の障壁について「特にない」(29.3%)、「金銭的な余裕がない」(19.2%) が上位となった。

## 調査結果

### (1) 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション、スポーツ・レクリエーション実施率

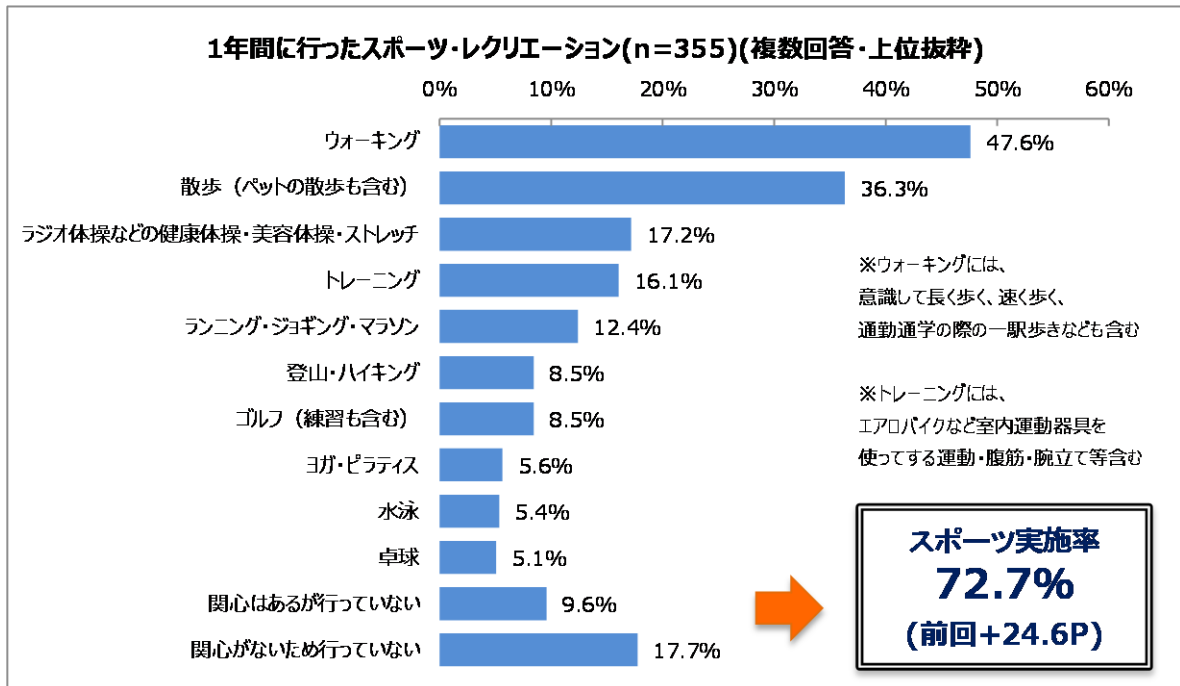


図 3-30

過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーションは 1 位「ウォーキング」(47.6%)、2 位「散歩 (ペットの散歩も含む)」(36.3%) となった。スポーツ・レクリエーションを「行っていない」が 27.3%であったため、スポーツ・レクリエーションの実施率は 72.7%となった。

### (2) 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション実施頻度

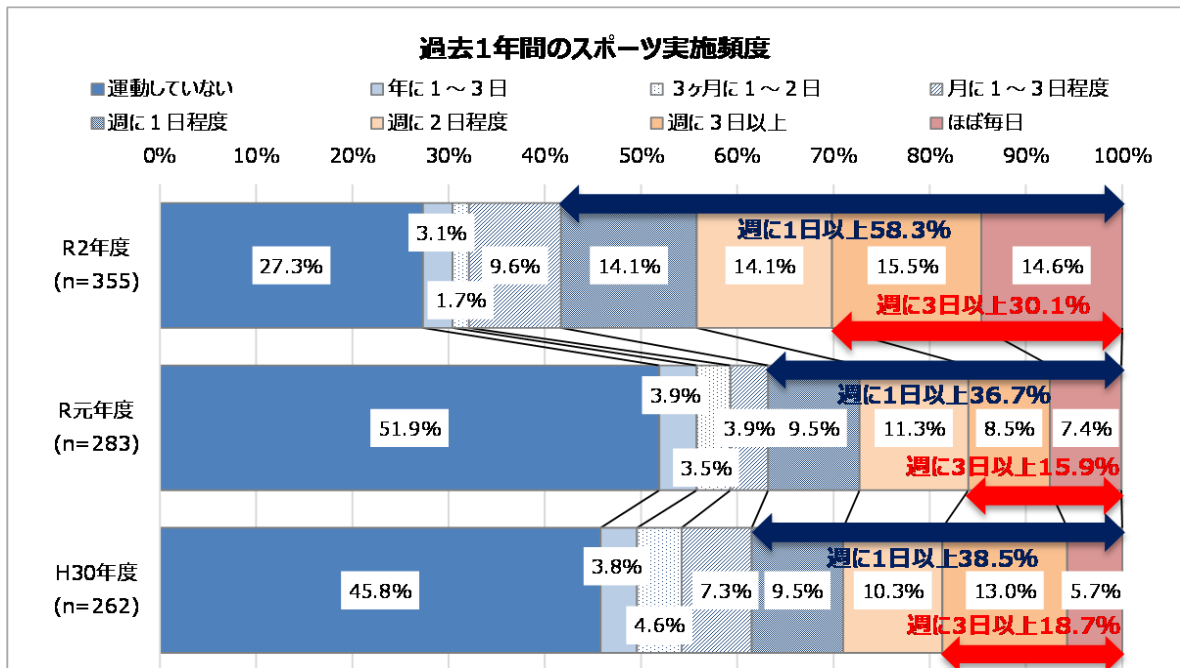


図 3-31

「週に 1 日以上」の実施率は 58.3%となった。横浜市スポーツ推進計画の目標 40%に対し、+18.3ポイントとなった。

(3) スポーツ・レクリエーション実施理由

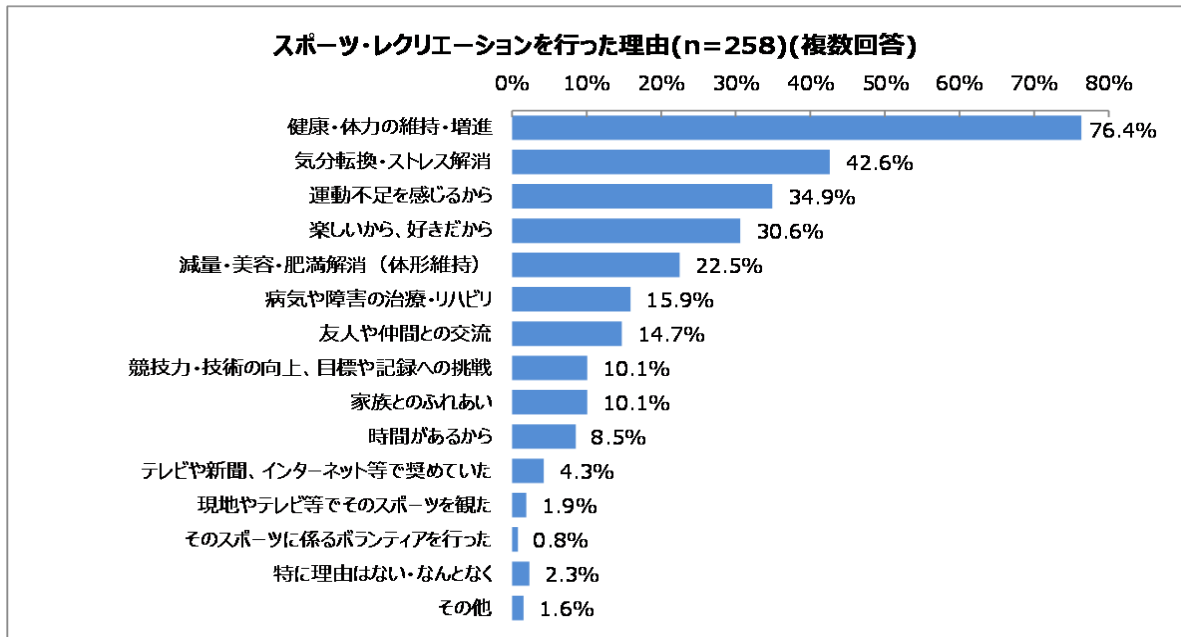


図 3-32

実施理由は「健康・体力の維持、増進」（76.4%）が最も高く、「気分転換・ストレス解消」（42.6%）、「運動不足を感じるから」（34.9%）と続いた。

(4) スポーツ・レクリエーション実施の障壁

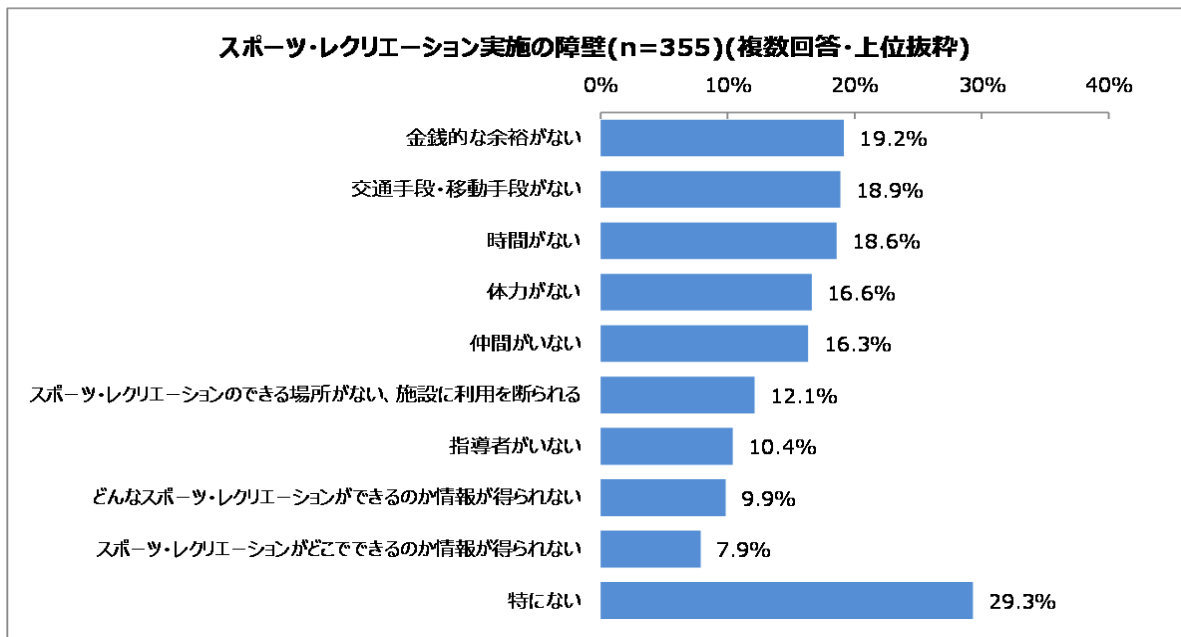


図 3-33

スポーツ・レクリエーションを行う際の障壁について、「特にない」が 29.3%であった。障壁の項目としては、「金銭的な余裕がない」（19.2%）、「交通手段・移動手段がない」（18.9%）が上位となった。

報告書の訂正

[P10] 障害のある方のスポーツ実施状況

（誤）令和元年度の 36.7%より 20.3 ポイント増、市の目標（40%）を 17.0 ポイント上回った。→（正）削除

[P26] (2) 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション実施頻度

（誤）横浜市スポーツ推進計画の目標 40%に対し、+17.0 ポイントとなった。→（正）削除